

新しい市役所本庁舎が完成しました！

令和2年5月から新築工事を進めていた新しい市役所本庁舎が、令和5年6月に完成しました。
新しい本庁舎は高い耐震性能と業務継続性を確保しており、災害対策活動の中核拠点となるだけでなく、川崎市の文化などの情報を発信しながら賑わいを創出し、市民の皆様にも親しまれる庁舎となることを目指してまいります。

1 本庁舎整備の経緯

平成25年度 川崎市本庁舎・第2庁舎耐震対策基本構想策定
平成26～27年度 川崎市本庁舎等建替基本計画策定
平成28年度 川崎市役所新本庁舎基本・実施設計着手
令和2年度 川崎市新本庁舎新築工事着手
令和5年6月 川崎市新本庁舎完成

2 施設概要

敷地面積：6,002.11㎡（本庁舎敷地） 1,309.51㎡（第2庁舎跡地広場）
建築面積：4,357.79㎡
延べ面積：62,356.13㎡
階数：地下2階 地上25階+免震層
建築物高さ：111.62m（最高高さ：116.97m）

3 今後のスケジュール

令和5年7月8日、9日 市民内覧会
7月中旬～ 什器の搬入・設置等
10月～ 順次移転を開始
令和6年7月 全ての移転を完了（第3庁舎等への移転を含む。）
令和6年度末 第2庁舎跡地広場整備完了

4 事業費の状況

現時点の契約済み金額 約462億円 ※今後、周辺道路整備や什器調達等を発注予定
(令和元年公表の事業予定金額 約470億円)

【問合せ先】

川崎市総務企画局本庁舎等整備推進室

■工事に関すること

畑 電話044-200-0861

■その他のこと

市川 電話044-200-0261

本庁舎等建替事業

川崎市の旧本庁舎と第2庁舎は、施設・設備の老朽化が進んでいただけでなく、災害対策活動の中核拠点として必要とされる耐震性能を満たしていないため、大規模地震が発生した場合には行政機能及び議会機能を喪失し、市民・企業の生活再建・復興が遅れる可能性があり、特に旧本庁舎は倒壊の危険性があるなど、多大なリスクを抱えていました。

また、床面積の不足などから、本庁機能が分庁舎や周辺の民間ビルに分散しており、行政サービスの低下や庁内執行体制の非効率化が生じているだけでなく、多額の賃借料負担も生じています。

こうしたことから、平成25年度に現庁舎敷地での建替を決定し、平成27年度には川崎市本庁舎等建替基本計画を策定。平成28年度からは基本・実施設計を行い、令和2年5月に工事着手し、令和5年6月に竣工いたしました。



設計コンセプト

川崎市役所本庁舎は「川崎市本庁舎等建替基本計画」に基づき、以下の5つの基本目標を踏まえて設計しました。

- 防災・危機管理**

市民の安全で安心な暮らしを確保するため、発災時には災害対策活動の中核拠点として十分に機能する庁舎とします。
- 施設機能・経済性**

すべての利用者に配慮し、効率的な執務が可能で、経済性が高く、将来の変化に柔軟に対応できる持続可能な庁舎とします。
- 環境配慮**

地球温暖化対策の積極的な推進による、環境にやさしい庁舎とします。
- 文化・おもてなし**

川崎市の文化などの情報を発信するとともに、国内外からのお客様をもてなし、市民からも親しまれる庁舎とします。
- まちづくり**

今後のまちづくりや他の施策と相互に連携し、防災や人の流れに配慮した、まちづくりに資する庁舎とします。

施設概要

所在地	川崎市川崎区宮本町1番地
敷地面積	6,002.11㎡ (本庁舎敷地) 1,309.51㎡ (第2庁舎跡地広場)
建築面積	4,357.79㎡
延べ面積	62,356.13㎡
階数	地下2階 地上25階 + 免震層
建築物高さ	111.62m (最高高さ:116.97m)
構造	鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造 ※中間階免震構造
駐車場/駐輪場	駐車162台 / 駐輪80台

本庁舎等整備の経緯

平成25年度	川崎市本庁舎・第2庁舎耐震対策基本構想検討委員会設置 (H25.5) 川崎市本庁舎・第2庁舎耐震対策基本構想策定 (H26.3)
平成26年度	本庁舎等の建替えに関するアンケート実施 (H26.6) 川崎市本庁舎等建替基本計画策定 (H26~H27年度)
平成27年度	川崎市役所第2庁舎耐震補強工事実施 (H26~H27年度)
平成28年度	川崎市役所新本庁舎基本・実施設計着手
令和2年度	川崎市新本庁舎新築工事着手 (R2.5)
令和5年度	川崎市新本庁舎竣工 (R5.6)
令和6年度	第2庁舎跡地広場整備完了予定



川崎市総務企画局 本庁舎等整備推進室
〒210-8577
川崎市川崎区宮本町1番地
TEL:044-200-0281 FAX:044-200-3749

令和5年6月

川
Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

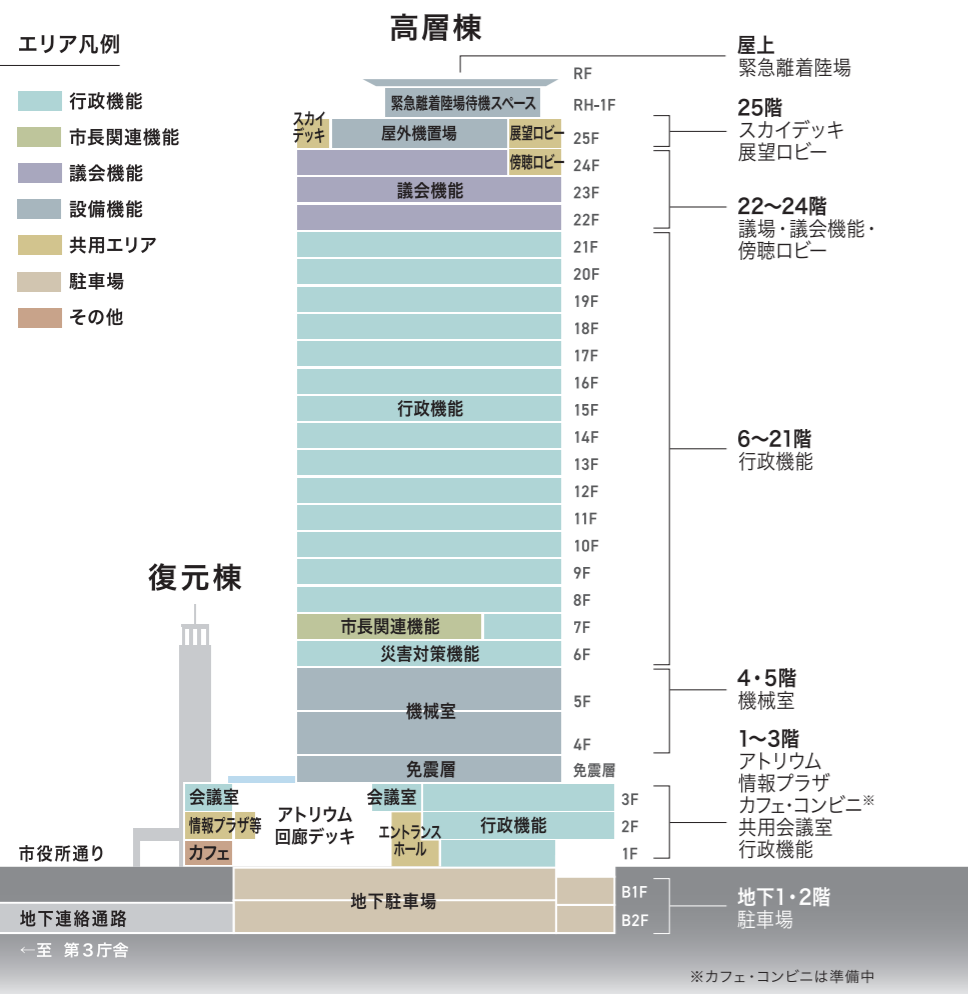


川崎市役所 本庁舎

KAWASAKI CITY HALL

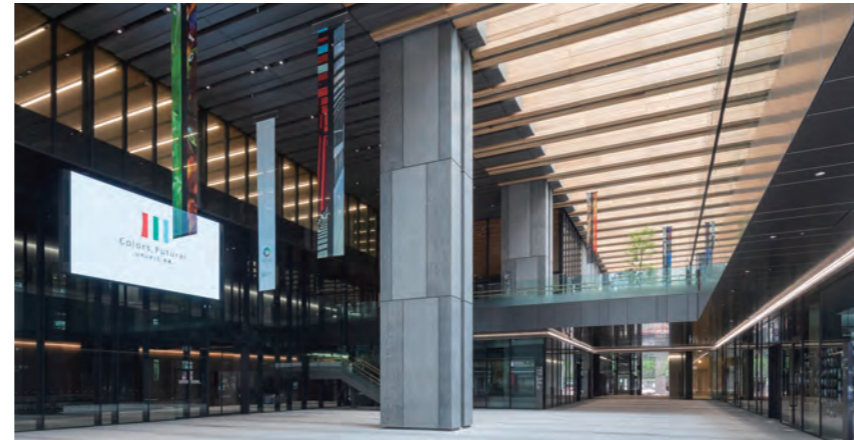


施設機能・階数構成



アトリウム・回廊デッキ

新しい本庁舎の中心となり、にぎわいを生み出すアトリウム・回廊デッキ



アトリウム

高層棟と復元棟の間にあるガラス屋根の掛かる3層吹抜けの半屋外アトリウム。災害時には、緊急車両の乗り入れも可能な多目的防災スペースとして利用します。



2階 回廊デッキ

アトリウムを囲うように設けた回廊デッキにより高層棟と復元棟を立体的に連結しています。



屋上庭園

3階の回廊デッキから復元棟にある屋上庭園にすることができます。

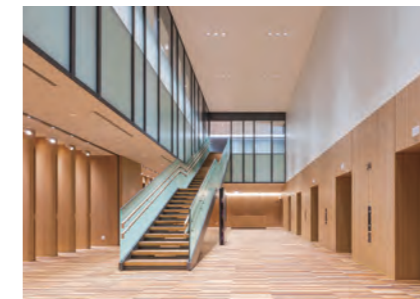
議会・展望フロア

セキュリティの分離と動線を明確にした議会フロアと市内及び東京・横浜方面を一望できる展望フロア



25階 展望ロビー・スカイデッキ

展望ロビー及びスカイデッキ（半屋外）から市内及び東京・横浜方面を一望できます。24階の傍聴ロビーと25階の展望ロビーを吹抜けで一体化、専用階段で双方を行き来できます。



24階 傍聴ロビー

傍聴席がある24階では、EVホールに面する位置に傍聴者が待機できるスペースを設けています。

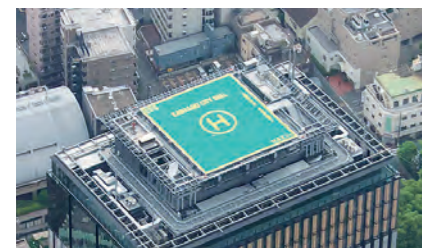


24階 市議会傍聴席

議場と傍聴席のフロアを分け、明確な動線計画としています。傍聴席には、車いす用スペースや親子席を設けています。

防災・業務継続対策

災害発生時には災害対策活動の中核拠点として十分に機能する庁舎



緊急離着陸場

屋上には、緊急避難を想定した緊急離着陸場を設置しています。



執務室

天井の落下や破損等の二次被害を防ぐため、執務室を無天井としています。



免震構造

水害の影響を受けないよう、3階と4階の間に免震層を設けた中間階免震構造を採用しています。



機械室

主要な機械室は水害の影響を受けない4階以上に配置しています。



復元棟 外観

昭和13年2月に竣工し、戦前・戦中・戦後を通じて川崎市の行政の中心を担ってきた旧本庁舎の一部を、創建当時の姿で復元しています。



2階 旧市長室

旧本庁舎創建当時の市長室を復元した展示室です。川崎市の年表や川崎市映像アーカイブをみることが出来ます。



1階 旧本庁舎歴史展示

旧本庁舎の歴史紹介映像や建替映像、復元に関する案内のほか、旧本庁舎の装飾品や松杭等を展示した展示室です。



23階 市議会議場

国産天然木を使用したリブ材と、耐震性鋼板（コールテン鋼）を組み合わせた表情豊かな内装デザイン。天井は地震時の落下等による二次被害を防ぐため、膜天井としています。